

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 瀬戸にあるものを活かす ～ごみ減量意識編～</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>本市のごみ減量施策については、ごみ処理費用有料化の議論やプラスチック製容器包装の分別収集を契機に、下げ止まっていた家庭系ごみ量に大きな変化が起こり、令和5年9月に予定していたごみ袋の大幅値上げが凍結されたという状況であります。</p> <p>現在、ごみ袋の値上げは「中止」ではなく、「凍結」された状態であり、今後のごみ減量の推移によっては、値上げの断行をせざるを得なくなることは十分に考えられます。</p> <p>ごみ減量を推進していくことについては、行政・議会とも、 (次ページへ)</p>	<p>(1) 行政と市民のごみ減量意識について</p> <p>(2) 一人暮らし高齢者が多い本市でのごみ減量啓発について</p>	<p>① 本市では、令和4年度当初予算から「資源ごみ分別処理」事業を重点事業に掲げており、指標として「ごみの資源化率」と「家庭系ごみ量(資源物除く)」が挙げられています。この方針は今後も継続していくという考えでよいのか伺います。</p> <p>② 令和5年6月定例会は「ごみ袋値上げ凍結」を巡り、本市が注目される機会となりました。市民の皆様のごみに対する意識は確実に高まったと感じますが、それが「ごみ袋が値上げしなかったことへの単なる安心感」に留まっている人もいれば、「ごみ減量意識の向上」に繋がった人もいると考えますが、現状の市民意識についての見解を伺います。</p> <p>① 令和2年国勢調査によると、尾張東部衛生組合の構成三市の一人暮らし高齢者の数は、本市では6,413人、尾張旭市では3,425人、長久手市では1,427人であり、一般世帯数に対する割合においても、本市が三市のなかで一番高い現状があります。ごみ問題を行政から見たとき、どのような課題が発生しやすい、または発生していると考えているのか伺います。</p> <p>② 本市では他市町と同じく、自治会の加入率が下がっているなどの課題はあるものの、各町内会・自治会・公民館・地域力など、市民による地域活動は活発に行われています。ごみ減量や分別などの課題解決に向けて、現在どのような活動が行われており、どう評価しているのか。また今後どのような取り組みに期待しているのか伺います。</p>

( 1 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>共通の認識であります。</p> <p>そのごみ減量意識が、多くの市民の皆様とも共有され始めている今こそ、ごみ減量施策に対して、最小限の経費で最大限の効果を得られる時だと捉え、これからのごみ減量施策について質問していきます。</p>		<p>③ 一人暮らし高齢者が多い本市においては、ごみ減量・ごみ分別推進のポイントのひとつは「一人暮らし高齢者にもわかりやすい啓発活動」だと考えます。そうした場合、【身近な人が】【わかりやすくポイントを絞って】【繰り返し何度も】が重要となります。以上の条件を加味したとき、「自治会から展開する回覧板などによる、繰り返しわかりやすい啓発」や、「地域包括支援センターを中心に、ケアマネジャーやヘルパーからの、直接的でわかりやすい説明や補助」は、地道ながら有効性が高いと考えますが見解を伺います。</p> <p>④ ごみ減量の啓発活動として、「ごみ減量アイデアコンテスト」を実施している自治体は多数あります。募集・応募・審査・結果発表などの機会を通して、市民の目に触れる機会を多く得られます。市民のごみに対する意識が高まっている機運を広げていく施策として、すぐに取り組みめる施策のひとつだと考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 再利用推進施設「エコプラザ」について	<p>① 3R【リデュース（ごみそのものを減らすこと）・リユース（使える物は、繰り返し使うこと）・リサイクル（ごみを資源として再利用すること）】活動の推進は全国的に行われていますが、本市では、三要素それぞれの推進について、どのような課題を持っているのか伺います。</p> <p>② 3R活動のうちリユースについて、本市ではかつて、再利用推進施設「エコプラザ」がありましたが、平成26年3月に閉館しました。当時の閉館理由は何であり、本市としてリユース施設・リユース機能の必要性に関する認識は、現状どのようなか伺います。</p> <p>③ 本市の公共施設の考え方からも、「エコプラザ」を単独施設として復活させることは難しいと考えます。しかしながら、本市としてリユース機能を保持することは合理的な施策と考えます。既存の公共施設や、遊休施設のなかで、リユース機能を持たせることの検討や、リユースのなかでも子供向けや高齢者向け、陶磁器や学用品、雑貨に分けるなど、機能を分散させる可能性の検討、イベント方式・常設交換方式などの比較検討、人件費を抑えるための検討、民間との連携など、リユース機能を充実させるための検討は必要だと考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4)プラスチック一括回収(プラスチック製容器包装と製品プラスチックをまとめて回収すること)という選択肢について	<p>① 令和4年10月にプラスチック製容器包装の分別を始めて以来、多くの市民から要望され、議会からも提言している「プラスチック製容器包装の回収回数を増やすこと」「利便性の向上に繋がるよう、各町内の集積場所の増設を図ること」「地域の広さを勘案し、資源回収の拠点の充実を図ること」について、現状はどのようなか伺います。</p> <p>② プラスチック製容器包装の分別収集を開始し、下げ止まっていたごみ量は、減少傾向にあります。しかしながら、プラスチック製容器包装の分別は難しいとの市民の声もいまだ多くあるのが現状だと思われまます。本市としては、具体的にプラスチック製容器包装の分別の課題をどう捉えているのか伺います。</p> <p>③ 本市においては、令和4年10月からプラスチック製容器包装の分別収集を始めましたが、製品プラスチックは分別を行っていません。現在の国の方針をどのように捉えているのか、またそれに対して本市の方針はどのようなか伺います。</p> <p>④ ごみ分別の方針については、従来は分別品目を増やし、細かく分別するものだったことから、「分別は複雑で難しい」イメージがあったと考えまます。本市が実施しているミックスペーパー分別は、そういう意味ではミックスペーパーに該当する対象品目を増やすことで、市民に対するわかりやすさ、分別の簡易さに繋がった事例だと思えまますが見解を伺います。</p>

( 4 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑤ 本市の現状のプラスチックの分別は、容器包装類は資源物指定袋に、ストローや歯ブラシなどの製品プラスチックは燃えるごみ指定袋に分けることになっています。市民に対するわかりやすさ、分別の簡易さに着目したとき、これらを一緒に資源物指定袋に入れるプラスチック一括回収は、特に分別が難しいと感じている市民に対して、合理的な手法だと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑥ プラスチック製容器包装の回収を月2回から週1回に変更することの優先順位は高いと考えますが、プラスチック一括回収を視野に入れた場合、燃えるごみ袋からさらにプラスチックが抜き取られることから、プラスチックの回収頻度を増やすことに合理性が増すと考えますが見解を伺います。</p> <p>⑦ 無い袖は振れない。それゆえ行政として選択と集中は必要であると考えます。現在の本市において、ごみ減量施策は、今、集中して取り組むべきことではないでしょうか。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。